

小林疏月

(海鏡)

小説家、俳人。明治二十一年十一月六日信濃國生れ(一

八九一)。本名芳之二郎。別號曲水漁郎、清水谷疏月、秋月、蝶夢居士、

覆面子、疏月庵主人、疏月生等。新聞記者の傍ら新聞、雜誌の作品を

發表。また秋聲會系の俳人としても活動。清水谷俳道場を主宰した。

著書『お玉いなり』(疏月庵主人名、明治二十六年十月)二十一年丙山

港二郎刊、栃木・集英堂書肆)、『藪椿』(明治二十年六月)二十一年

大阪・尚文堂)、『おはがき帖』(明治二十九年二月)二十七月寶永館

書店)、『瀧の音』(明治四十年二月十五自隆文館)、『夜半の鐘』

(大正二年十一月十八日東盛堂書店)、『夜半の鐘・終編』(大正二

年十一月十八日東盛堂書店。附録「魔酔せる女」)、『快哉山田喜久

次郎君』(編、昭和四年)二月十五自中央新聞社)、『信濃温泉案内』

(編・信濃温泉協會、昭和十二年五月十日長野縣温泉協會)、『古稀

疏月句集』(清水谷疏月名、昭和十二年二月一日清水谷俳道場)等。